

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科園芸学専攻				
科目名称	果樹園芸学特別演習Ⅱ				授業形態	演習			
科目コード	611400	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	前田 隆昭							ICT活用	
授業概要	本演習では、果樹園芸学特論Ⅰ・Ⅱおよび果樹園芸学特別演習Ⅰなどで習得したことをもとに、受講生自らが修士論文課題についての目的・研究方法・進捗状況について論理的に発表し、受講生同志がお互いの理解を深めていく【知識・理解の育成】								
関連する科目	果樹園芸学特論Ⅰ・Ⅱ、果樹園芸特別演習Ⅰを受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方と方法	受講生が、修士論文をまとめる上で引用する文献などの内容を発表する。その際は、随時、ディスカッション等により学びを深めていく。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施する【専門分野の知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】。								
授業計画	<p>第1回 ガイダンス（スケジュール、評価、概要説明）授業の概要および進め方について説明する。</p> <p>第2回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議1 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第3回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議2 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第4回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議3 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第5回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議4 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第6回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議5 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第7回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議6 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第8回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議7 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第9回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議8 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第10回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議9 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第11回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議10 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第12回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議11 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第13回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議12 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第14回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議13 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p> <p>第15回 受講生の修士論文課題に対する研究報告および進捗状況の発表・討議14 修士論文をまとめる上での引用文献について、その内容を受講生が発表し、ディスカッションする。</p>								
授業の到達目標	果樹栽培に関する研究について理解するとともに、関連する研究手法について精通することを目標とする【専門分野の知識・理解の育成】。								
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能								
授業時間外学習【予習】	次回、講義で使用する文献を配布するので、事前に予習すること（約1時間）。								

授業時間外学習【復習】	授業で学んだことをより理解するために、参考文献等を探し、復習すること（約1時間）。
課題に対する フィードバック	毎回、発表についての指導を行う。
評価方法・基準	受講態度（50%）、課題提出（50%）
テキスト	随時、資料を配布する、
参考書	特になし
備考	